

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまびこ

コード番号 6250 URL <http://www.yamabiko-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北爪 靖彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 兼 経理部長 (氏名) 石川 安男

TEL 0428-32-6112

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	43,281	—	843	—	402	—	△2,451	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△225.17	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注)当社グループは平成20年12月1日設立のため、前期実績および対前期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	74,851	27,183	36.1	2,480.89
21年3月期	75,322	30,765	38.9	2,694.95

(参考)自己資本 22年3月期第2四半期 27,013百万円 21年3月期 29,310百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	14.00	14.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	—	300	—	△500	—	△3,800	—	△348.98

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注)当社グループは平成20年12月1日設立のため、対前期増減率は記載していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ定性的情報・財務情報等 4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	11,027,107株	21年3月期	11,027,107株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	138,283株	21年3月期	151,173株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	10,888,379株	21年3月期第2四半期	—株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)における、わが国を含む世界経済は、昨年の米国の金融危機に端を発した景気悪化が最悪期を脱したとの見方があるものの、依然、雇用環境の悪化や個人消費の不振、設備投資も手控えが続くなど、景気は低迷いたしました。また、為替相場は対ドル、対ユーロとも前年同期間に比べ円高に推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、流通業者を対象にした株式会社やまびこ発足の記念キャンペーンを実施するなど拡販に努めるとともに、原価低減や経費削減に積極的に取組む一方、平成21年5月15日付けで公表いたしました「当社完全子会社である株式会社共立及び新ダイワ工業株式会社の吸収合併に関する吸収合併契約締結のお知らせ」のとおり、今般の世界経済の急速な悪化に起因する当社グループ関連事業の国際的な市況の冷え込みや円高の進行など、当社グループを取り巻く環境が予想を超えて厳しさを増す状況に鑑み、業務の効率化・合理化および企業風土の融合を一層加速させ、いち早く経営資源の一元化を図り、経営統合シナジーを早急に最大化するために、平成21年10月1日を効力発生日として株式会社共立と新ダイワ工業株式会社を吸収合併することとし、両社の重複機能の統廃合、販売網の再編推進、生産移管を含めた生産体制の見直しなど、諸施策の前倒し実施、またはその準備に傾注してまいりました。

以上のような事業展開を実施いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は432億81百万円で、その内訳は、国内売上高175億27百万円、海外売上高は257億53百万円となり、このうち米州の売上高は201億83百万円、米州以外の海外売上高は55億69百万円となりました。

損益面においては、合併準備のための一時的な費用の発生などがあり、営業利益は8億43百万円、経常利益は4億2百万円となりました。また、合併に伴う事業再編損失(特別損失)や繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額の計上等により24億51百万円の当期純損失となりました。

各部門別の概況は次のとおりであります。

《小型屋外作業機械部門》

小型屋外作業機械部門においては、国内は天候不順による農作物の不作や被害に加えて景気後退によって農外収入の減少により購買意欲が減退する中であって、当社グループは、市場投入した新型オートスタートタイプの刈払機をはじめ、ヘッジトリマー、パワーブロワの各新製品が伸長したことなどで、堅調に推移いたしました。

海外では、リーマン・ショック以降、世界中に広がった景気後退が屋外作業機械市場にも影響をおよぼし、各地域で大幅な需要低下に見舞われる中であって、当社グループは、各地域ごとのきめの細かい販売・サービス支援活動などにより健闘いたしました。円換算売上高では円高の影響を大きく受ける結果となりました。

その結果、小型屋外作業用機械部門の売上高は230億74百万円となりました。

《農業用管理機械部門》

農業機械市場は、低温・長雨といった天候不順や農産物価格の低迷もあり、需要が大きく落ち込む中、当社グループは、乗用管理機が新機能搭載機種の新市場投入効果と農林水産省補正予算で実行された緊急機械リース事業の対象となったことなどを受けて売上を伸ばしましたが、果樹市況低迷の影響により主力製品であるスピードスプレーヤーの販売が不振だったことなどで、農業用管理機械部門全体では低調に推移いたしました。

その結果、農業用管理機械部門の売上高は95億1百万円となりました。

《一般産業用機械部門》

一般産業用機械部門においては、国内外の景気が依然として低迷する中、自動車・機械・工作機械・電気機器産業の分野で、予定されていた設備投資の中止や延期が相次いだことで大幅な需要減少となりました。また、建機レンタル業界では、ビルや住宅、工場設備などの受注や着工の激減に伴って、資産物件の購買意欲が極端に減退いたしました。

そのような状況の中、当社グループは、様々な販売促進策を講じて売上の確保に努めましたが、不振が続きました。

その結果、一般産業用機械部門の売上高は21億97百万円となりました。

《その他部門》

アフターサービス部品は国内外ともに好調に推移しましたが、アクセサリなどの販売は低迷しました。その結果、その他の部門の売上高は85億7百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は748億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億71百万円減少いたしました。流動資産は479億28百万円となり、7億50百万円増加いたしました。

その主な要因は、売上債権の増加21億67百万円、たな卸資産の減少13億47百万円によるものであります。固定資産は269億23百万円となり、12億21百万円減少いたしました。その主な要因は、投資その他の資産の減少6億68百万円等によるものであります。

負債合計は476億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億10百万円増加いたしました。その主な要因は借入金の増加26億88百万円等であります。

純資産合計は271億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて35億81百万円減少いたしました。その主な要因は、株主資本の減少25億77百万円等であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、36.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より8億48百万円増加し、50億34百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加23億7百万円、たな卸資産の減少18億42百万円、減価償却費の計上17億15百万円等により、6億33百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、連結子会社株式追加取得15億7百万円、金型等の設備投資13億69百万円、信託受益権の売却5億47百万円等により、20億30百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加43億20百万円、長期借入金の返済18億29百万円等により、22億44百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力製品である小型屋外作業機械および農業用管理機械の需要は、北半球における春から初夏までに偏っております。そのため、第2四半期累計期間に比べて第3四半期および第4四半期の半年間は売上高および利益の水準が極めて低くなると見込まれます。

加えて、当社グループの売上の半分以上が米ドルを中心とする外国通貨によるものであるため、為替相場の動向によっては、業績に大きく影響がおよぶ可能性があります。

今後の見通しにつきましては、経営資源の一元化をより促進させ、グループを挙げて業務の効率化・合理化・最適化に取組み、合併によるシナジーを追求し業績の回復に努めてまいります。長引く世界的な景気停滞に加えて為替レートも期初の想定より円高ドル安に推移するものと見込まれるなど当社グループを取巻く経営環境は引き続き厳しいと予想され、さらに第2四半期会計期間末に計上いたしました繰延税金資産の取崩しの影響が大きく、連結業績は平成21年5月15日公表の業績予想を下回るものと予想されます。

詳細につきましては、平成21年11月9日付けで公表いたしました「業績予想(連結)および配当予想の修正に関するお知らせ」を参照願います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸しを省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,034	4,186
受取手形及び売掛金	17,116	14,948
有価証券	165	164
商品及び製品	18,910	20,066
仕掛品	949	853
原材料及び貯蔵品	4,582	4,868
その他	1,537	2,424
貸倒引当金	△367	△335
流動資産合計	47,928	47,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,449	8,599
土地	8,515	8,469
その他(純額)	6,223	6,583
有形固定資産合計	23,189	23,653
無形固定資産	464	553
投資その他の資産		
その他	4,337	5,017
貸倒引当金	△1,067	△1,079
投資その他の資産合計	3,269	3,937
固定資産合計	26,923	28,144
資産合計	74,851	75,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,704	14,025
短期借入金	19,700	14,984
未払法人税等	265	184
引当金	655	312
その他	4,286	4,509
流動負債合計	38,613	34,016
固定負債		
長期借入金	2,939	4,967
退職給付引当金	4,410	4,704
その他	1,704	869
固定負債合計	9,054	10,541
負債合計	47,668	44,557

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,910	9,904
利益剰余金	12,179	14,785
自己株式	△127	△149
株主資本合計	27,962	30,540
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	393	304
繰延ヘッジ損益	4	△24
為替換算調整勘定	△1,346	△1,510
評価・換算差額等合計	△948	△1,229
少数株主持分	169	1,455
純資産合計	27,183	30,765
負債純資産合計	74,851	75,322

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	43,281
売上原価	31,991
売上総利益	11,289
販売費及び一般管理費	10,446
営業利益	843
営業外収益	
受取利息	107
受取配当金	6
その他	133
営業外収益合計	248
営業外費用	
支払利息	225
為替差損	396
その他	66
営業外費用合計	689
経常利益	402
特別利益	
前期損益修正益	6
固定資産売却益	3
その他	7
特別利益合計	17
特別損失	
固定資産除却損	83
事業再編損	578
その他	16
特別損失合計	679
税金等調整前四半期純損失(△)	△259
法人税、住民税及び事業税	459
法人税等調整額	1,559
法人税等合計	2,019
少数株主利益	173
四半期純損失(△)	△2,451

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	22,144
売上原価	16,674
売上総利益	5,469
販売費及び一般管理費	5,321
営業利益	148
営業外収益	
受取利息	62
その他	60
営業外収益合計	122
営業外費用	
支払利息	112
為替差損	314
その他	43
営業外費用合計	470
経常損失(△)	△199
特別利益	
前期損益修正益	2
固定資産売却益	2
その他	7
特別利益合計	12
特別損失	
固定資産除却損	39
事業再編損	529
その他	9
特別損失合計	578
税金等調整前四半期純損失(△)	△765
法人税、住民税及び事業税	291
法人税等調整額	1,478
法人税等合計	1,769
少数株主利益	116
四半期純損失(△)	△2,651

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△259
減価償却費	1,715
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△294
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△242
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15
受取利息及び受取配当金	△114
支払利息	225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	369
事業再編損失	578
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,307
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,842
仕入債務の増減額 (△は減少)	△762
未収消費税等の増減額 (△は増加)	431
その他	106
小計	1,305
利息及び配当金の受取額	115
利息の支払額	△229
事業再編による支出	△170
法人税等の支払額	△387
営業活動によるキャッシュ・フロー	633
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,369
有形及び無形固定資産の売却による収入	22
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,507
信託受益権の売却による収入	547
保険積立金の払戻による収入	283
その他	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,320
長期借入金の返済による支出	△1,829
配当金の支払額	△150
少数株主への配当金の支払額	△84
その他	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,244
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	838
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9
現金及び現金同等物の期首残高	4,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,034

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

一般機械器具製造販売事業部門の売上高及び営業損益の金額が全セグメントの連結売上高及び営業損益の生じているセグメントの営業損益の合計額の90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,015	11,128	—	22,144	—	22,144
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,115	232	760	5,108	(△5,108)	—
計	15,130	11,360	760	27,252	(△5,108)	22,144
営業利益又は営業損失(△)	△488	972	39	524	(△375)	148

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,872	20,408	—	43,281	—	43,281
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,802	487	1,654	9,944	(△9,944)	—
計	30,675	20,895	1,654	53,225	(△9,944)	43,281
営業利益	66	1,314	120	1,501	(△658)	843

- (注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
(1) 北米……………米国、カナダ
(2) アジア……………中国、台湾

[海外売上高]

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	米州	その他地域	計
I 海外売上高(百万円)	10,995	3,114	14,110
II 連結売上高(百万円)	—	—	22,144
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	49.7	14.0	63.7

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	米州	その他地域	計
I 海外売上高(百万円)	20,183	5,569	25,753
II 連結売上高(百万円)	—	—	43,281
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	46.6	12.9	59.5

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、中南米諸国

(2) その他地域……フランス、イタリア、イギリス、ロシア、台湾

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本は、前連結会計年度末より2,577百万円減少しており、その主な要因は四半期純損失による減少であります。また、少数株主持分は前連結会計年度末より1,285百万円減少しており、その主な要因は第2四半期連結会計期間において子会社の少数株主より株式を追加購入したことによるものであります。

6. その他の情報

部門別販売実績

部門	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
小型屋外作業機械(百万円)	12,107	23,074
農業用管理機械(百万円)	4,564	9,501
一般産業用機械(百万円)	1,202	2,197
その他(百万円)	4,269	8,507
合計(百万円)	22,144	43,281

(注) 1 各部門別の主な製品

(1) 小型屋外作業機械…チェンソー、刈払機、パワーブロワー

(2) 農業用管理機械……動力噴霧機、スピードスプレーヤ

(3) 一般産業用機械……溶接機、発電機

(4) その他……………アフターサービス部品、アクセサリ

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。